

令和4年度の長崎県技術士会の総会について

長崎県技術士会会長 山口和登

令和4年度の長崎県技術士会の総会を6月18日（土）に予定していますが、新型コロナウイルスによるコロナ過の不安が未だ完全には払拭できません。このため、コロナ過の状況により、今回の総会も開催時間を短くし、かつ多くの会員の参加（意向確認）を図るため、下記の様な形式を検討し、4月中に開催する役員会で最終的に決定する予定です。

- ① 今年度も昨年度に引き続き、書面表決による総会を実施する。
- ② 通常の対面による総会を実施する。
- ③ 両方を考慮した総会形式にする。

昨年度の総会は書面表決を実施したところ、全会員183名の63%の議決権行使が行われました。表決の結果につきましては、厳正な立ち合いのもと、表決結果の確認が行われました。結果報告は全会員にメールで報告するとともに、長崎県技術士会のホームページにも掲載いたしました。

今年度の総会は、下記のように予定しています。

- 1号議案：令和3年度事業報告
- 2号議案：令和3年度収支報告及び監査報告
- 3号議案：令和4年度事業計画（案）
- 4号議案：令和4年度収支予算（案）
- 5号議案：長崎県技術士会改革（案）実施の審議報告事項：会員名簿様式の一部変更等です。

5月になりましたら総会の案内文、個別議案を

会員各自に送信しますので、総会への出席の可否、欠席の場合は委任状の提出又は議決権の書面での行使を記入の上、返信していただきたいと思います。併せて返信時に

- ① 所属先・所属部所
- ② 連絡先（住所・電話番号・Eメール）
- ③ 登録部門の追加
- ④ 技術士CPD実績登録状況（登録済み、準備中、未定）
- ⑤ その他

変更事項などがございましたらお知らせください。令和4年度の会員名簿作成時の参考にしたいと思っています。事務局のほうでも変更事項については調査致しますが、情報が限られているため、連絡がない場合は前年度同様の記載となりますのでご了承ください。

5号議案：長崎県技術士会改革（案）は具体的には、

- （1）（公社）日本技術士会長崎県支部会員は基本的に長崎県技術士会会員とするが、長崎県支部会員は長崎県技術士会会費を無料とする案
- （2）長崎県技術士会の会費減収を補うための方策として、会員名簿の廃止を含めた改革案や、協賛団体会員の募集により協賛会費で補う案等
- （3）長崎県技術士会役員に関する改革案等
- （4）その他経費削減に伴う検討事項等 について具体的に改革案を提案したいと思います。

会員名簿については役員会で以下の様な意見が出ました。

- ① 名簿の内容（区分を少なくしていいのではないか）

- ② ページ数（もっと薄くてもいいのではないか）
- ③ 発行部数（現在は 350 部作成しているが少なくしていいのではないか）
- ④ 発行年（発行を毎年行っているが隔年発行ではどうか）
- ⑤ 電子媒体（紙ベースの名簿はなくして電子媒体の発行ではどうか）等です。

いずれも名簿作成の経費を削減するとの趣旨で意見が出たと思われます。この件も会員各位の皆さんの意見を伺って決定したいと思いますので、会員名簿に関するアンケートも併せて実施したいと思います。アンケート結果を尊重し、令和4年度の会員名簿には間に合いませんが、結果を参考に令和5年度の会員名簿から改定を実施したいと思います。今年度の名簿に関しては例年通りで作成準備中であります。

ところで昨年度の会費未納の方が複数名おられますが、年会費が正会員で3,000円と安いいため、忘れられている方が大多数と思われます。しかし、3年以上の会費未納の会員は会則に則って自動的に退会となりますので、心当たりの会員はお問い合わせください。尚、今年度の総会までに会費納入の方は未納となりませんのでご確認ください。

以上、令和4年度の長崎県技術士会の総会の予定概要等について述べました。尚、当日は（公社）日本技術士会長崎県支部年次大会、第1回CPD研修会、交流会（合格祝賀会）も併せて予定しております。総会等の詳細が決まりましたら、5月には案内致しますので、会員の皆様の多数の出席、欠席の場合は返信メール、ファックス、郵送等のような形で結構ですので、1人でも多くの書面での参加を期待しております。

すのでよろしくお願い申し上げます

第7回長崎大学（社会環境デザイン工学コース）学生への講演会報告

長崎県技術士会 理事 園田直志

長崎県技術士会の広報活動として長崎大学工学部工学科社会環境デザイン工学コースの3回生学生に「技術士制度」等の講演を実施しました。この講演会も7回目となりました。内容は、昨年の6回目と違ってCOVID-19禍の中でも対面の講義で開催できました。例年（2月中旬）と違って、開催日が12月の初旬でもあり、3回生の学生が進路をこれから模索する時期であったので、其れなりに進路選定に影響する様な意見が「学生アンケート」に見受けられる様です。以下に、講演内容と学生アンケート結果を報告します。

日時： 令和3年12月6日（16：10～17：00）

指導教員：鈴木誠二准教授（長崎大学大学院工学研究科システム科学部門）

場所： 長崎大学第4番講義室

講演題目、講師：

（1）「技術士制度について」

講師1：長崎県技術士会会長

山口和登（応用理学部門）

（2）「修習技術者として技術士を目指せ～10年後～」

講師2：日本技術士会九州本部長崎県支部長

山口昭光（農業部門）

（3）「技術者のキャリアパス」

講師3：長崎県技術士会理事

園田直志（建設部門）

講演内容：

(1)「技術士」制度について

例年、当会の山口和登会長が実施している講演内容を2022年度版へのバージョンアップです。

1. 国家資格「技術士」の紹介と技術士制度と技術士及び技術者の定義や役割、仕組みをわかり易く説明した。
2. 最近の一次試験、二次試験合格数などの現状を説明した。
3. 初期専門能力開発（IPD-Initial Professional development）の基本方針（その1～その4）として詳しく講演した。
4. 技術士の3つの義務と2つの責務について、特典を交えて21世紀の技術士としての心構えを学生達に伝えた。



写真1：講演1

(2)「修習技術者として技術士を目指せ～10年後～」

昨年度と同様に、日本技術士会九州本部長崎県支部長の山口昭光氏が、「修習技術者」についてJABEE認定プログラム卒業予定の学生達に、分かりやすく解説して頂いた。

1. 修習技術者とは、技術士補となる資格を有する者である。
2. 修習の目的と目標を持ち社会的・経済的役割を果たす事を述べた。
3. 目標達成のための鍵を伝え、その修習方法や姿勢を講演した。

4. 修習技術者に求められる基本課題と資質・能力、具体的な実施方法などを述べて学生達の道標（みちしるべ）を伝える講演であった。



写真2：講演2

(3)「技術者のキャリアパス」

筆者の一昨年度2月の講演内容をバージョンアップして講演した。

1. 2019年度実施した長崎県技術士会の会員のアンケート「技術士資格のメリット・デメリット」の集計結果（APREN第69号で報告）を紹介した。
2. 土木系修習技術者は国家資格「技術士」取得に挑戦し、更新制度資格である「土木学会認定土木技術者資格制度」を利用しながら学生時代に取得可能な2級土木技術者からステップアップしてその過程に「技術士2次試験」があることを伝えた。
3. 資格を取得することにより公務員や将来の転職の道がある事も紹介した。
4. 技術士資格取得後も継続研鑽（CPD）を実施することの重要性を講演した。
5. 過去6回の講演会報告記事を長崎県技術士会のホームページに掲載しているので広報誌APRENに先輩方の意見や進路選定のヒントがあることを参考にして欲しいと伝えた。

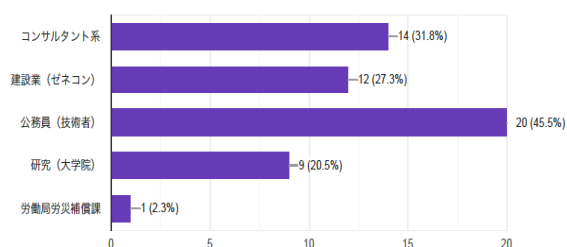
(4) 講演後の学生アンケートの集計結果から

問1：志望進路

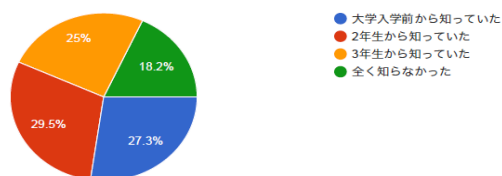
出席者44名の全員からGoogleフォームを使っ

たアンケート集計が出来た。今年は進路指導の前に講演したので複数選択（56／44 回答数）が多くなった様である

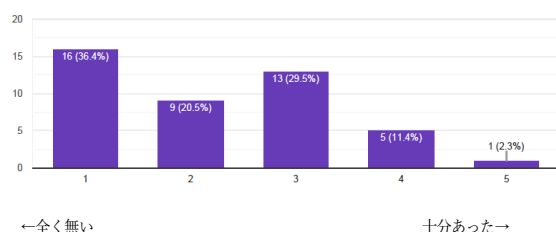
その内訳は公務員、コンサルタント系 14 名（31.8%）、建設業 12 名（27.3%）、研究 9 名（20.5%）と続きます。



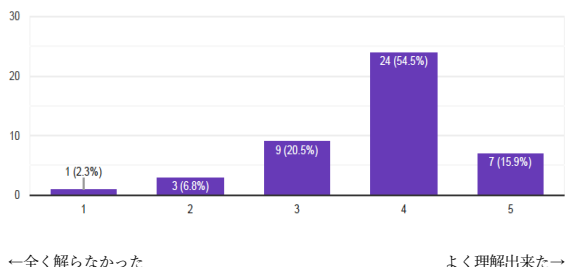
問 2：技術士の資格や名称を以前から知っていましたか



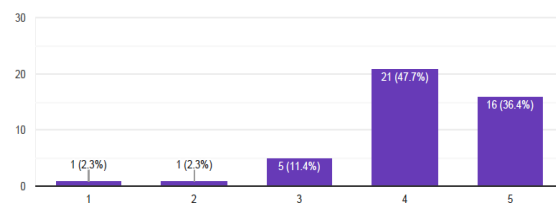
問 3：技術士について研修を受ける機会がありましたか



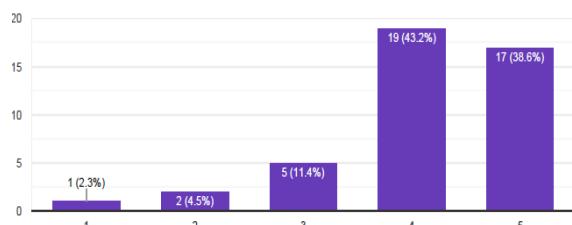
問 4：技術士資格制度（JABEE 認定プログラム）を理解しましたか



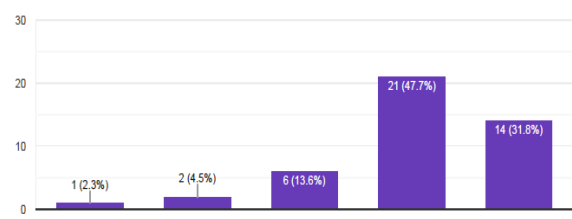
問 5：講演 1（技術士制度について）の内容は、理解しやすかったですか



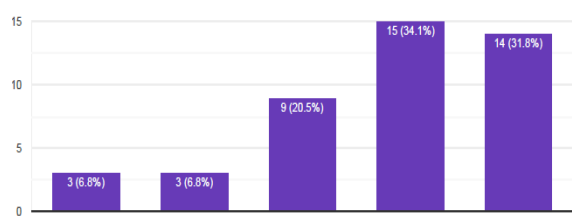
問 6：講演 2（修習技術者として技術士を目指せ～10 年後～）の内容は、理解しやすかったですか



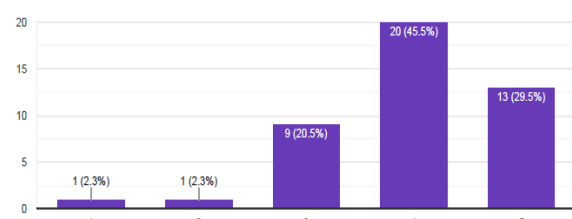
問 7：講演 3（技術者のキャリアパス）の内容は、理解しやすかったですか



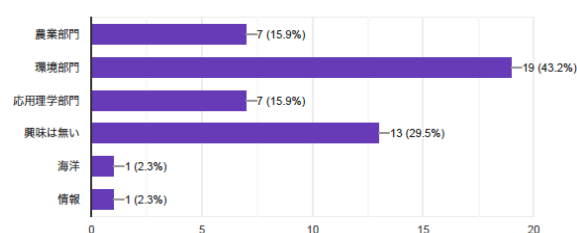
問 8：技術者倫理について研修を受ける機会がありましたか



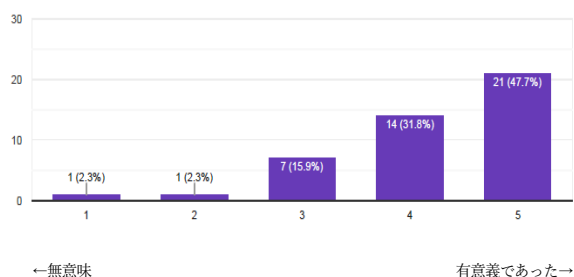
問 9：技術士の方から、実践的な技術者倫理について学びたいですか



問 10：建設部門以外の技術士に興味はありますか又は研修を受けたいですか（複数選択可）



問 11：本研修中は有意義でしたか。



問 12：技術士資格のメリット等についてどう思いましたか

35 人の回答

- ① 給与 UP、出世が早いのは大きなメリットだった。
- ② キャリアアップするためには、必要になってくる資格であると理解をした。
- ③ 育児休暇や定年退職後の再就職にも役に立つのがいいと思った。
- ④ 定年退職した時に再就職しやすいことはすごくありがたいと思う。
- ⑤ 資格を持っていることで自分自身の客観的な証明になり、資格を取る過程の中で研鑽にもなるため、挑戦してみたいと思った。
- ⑥ 技術士資格はメリットが多くある資格だと思いました。
- ⑦ 信頼度や職場内地位、給料が上がる可能性があり技術士の資格を取ることはとても意味があると感じました。
- ⑧ 仕事をしながらキャリアアップできるし、定年後にも役立てることを知って良いなと思った。

問 13：研修中に強く印象に残ったことを述べて下さい

34 人の回答

- ① 意外と技術士は大事な資格であると感じた。将来土木系の仕事に就いた時は、ぜひ技術士の資格を積極的に取得したいと思った。
- ② 技術士が想像していたよりも取得が難しい資格だった。
- ③ 技術士資格の取得年代が 30 代や 40 代、50 代が多く、資格取得のために長年の積み重ねが必要になることを改めて理解した。
- ④ 公務員でも技術士資格を取っている人がいることが驚いた。
- ⑤ キャリアアップにとっても重要

問 14：技術者としての将来について、日頃から何か考え、意見・質問がありますか。その他自由な意見を述べて下さい。

19 人の回答

- ① 大変勉強になりました。講演ありがとうございました。
- ② 技術者としての責任感を持って、勉学に励みたいと思います。ありがとうございました。
- ③ 相当な精神力や忍耐力がないと長年技術者として働くことはとても難しいと思いますが、その忍耐力はどのようにして鍛えることができるのでしょうか。
- ④ 社会に出てからも資格取得や学ぶことは続けなければならないし、社会に出てからが本番だと言うことがよく分かりました。ありがとうございました。
- ⑤ 技術士は獲って当然だという考えはいつから根付いたのか気になった。
- ⑥ 技術者倫理をしっかり守ることを意識していきたい。



写真3：講演風景

(5) まとめ

第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）では技術士に関する記載があります。

○技術士制度について、関係府省が連携し、産業界での活用促進、普及に取り組むとともに、国際的通用性の確保、若手人材の参入促進、技術士の資質・能力の

向上に向けて、必要な制度の見直しを行う。【文、関係府省】

政府内部の審議会である文部科学省の技術士分科会制度検討特別委員会の第10期（令和2年度）では技術士のCPD制度の充実・強化が示され、第11期（令和3年度～継続中）では、IPD（初期専門能力開発）システムの導入が審議されています。JABEE、日本工学会、日本技術士会、関係学協会等が一体となって、「技術士のIPDからCPDへのシームレスな資質能力開発（コンピテンシー）」を謳っています。

我々先輩技術士や長崎県技術士会が実施する学生たちへの講義が、将来の優秀な技術者育成に貢献できることを願っています。（了）

※機関紙発行担当からのお知らせ

(1) 新入会員の紹介（1、2、3月承認）

（区分）	（氏名）	（部門）	（所属）
A会員	後田 靖広	農業	内外エンジニアリング株式会社
A会員	矢野 享	建設	三菱重工業株式会社
A会員	斎藤 悠也	電気電子	三菱重工業株式会社
A会員	渡島 隆	建設	三菱重工業株式会社

(2) 令和4年度の長崎県技術士会の総会、日本技術士会九州本部長崎支部の年次大会及び研修会記事にもあります様に、令和4年度の総会・研修会等は、2022年6月18日に「ホテルセンリュウ」諫早市永昌町13-29 TEL：0957-22-8888」で予定しています。多くの皆様の参加をよろしくお願いいたします。

(3) (公社)日本技術士会では、技術士のCPD実績登録事務が開始されています。下記のように、技術士CPDガイドブック（Ver1.1(2)-2021.9.8）（日本技術士会ホームページから入手可）には、技術士のキャリア形成に必要なCPD時間が掲載されています。

- ・資質能力の維持の為に必要なCPD時間 ▶20 CPD時間/年 : (基準CPD時間)
- ・高度なエンジニアとして必要なCPD時間 ▶50 CPD時間/年(うち技術者倫理10CPD以上) : (推奨CPD時間)
- ・より社会的な信頼度が高いエンジニアとして必要なCPD時間
▶250 CPD時間/5年間(うち技術者倫理50CPD以上) : 技術士(CPD認定)

将来的には、技術士(CPD認定)制度へ移行すると予想されるので、会員の皆様も早めにCPD実績登録をお勧めします。

編集代表&連絡先

N. ソノダ技術士事務所 代表 園田直志
sonoda_naoshi@icloud.com